





# 新たなレクリエーションの取り組み

～あなたの声を大切にします～

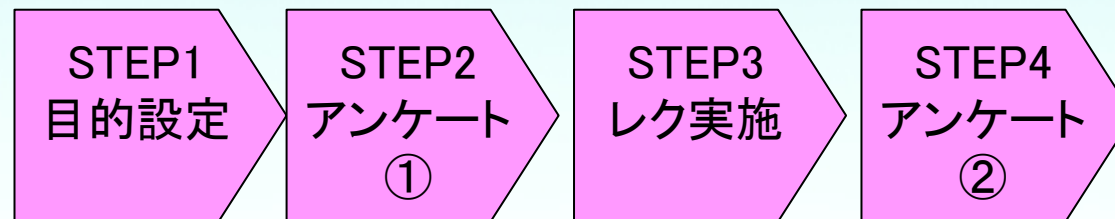


介護老人保健施設 アゼリア(東京都昭島市)  
発表者 介護福祉士 森野 千恵  
共同研究者 土屋 あゆみ



# はじめに

満足度アンケートに記載されていないご利用者の「生の声」の聞き取り  
「生の声」の結果をもとに、新たなレクリエーションの考案





# Step1 : 目的設定

STEP1  
目的設定

STEP2  
アンケート  
①

STEP3  
レク実施

STEP4  
アンケート  
②

## 目的

レクリエーションとして楽しみながら  
手指の機能向上を目指す！

- 実施期間  
平成25年2月～平成25年4月（現在も継続中）
- 対象者  
通所リハビリテーション利用者 72名





## Step2 : アンケート1

STEP1  
目的設定

STEP2  
アンケート  
①

STEP3  
レク実施

STEP4  
アンケート  
②

### 質問項目

手を使う動作において、生活の中で困っている動作はありますか？

- 回答は複数選択式
- 選択肢は  
水道をひねる・カギの開閉・ドアの開閉  
ペットボトルの開閉・冷蔵庫の開閉  
洋服のボタン掛け・書字・本をめくる  
ボタンを押す・ポットを押す・その他(記述)





## Step2 : アンケート1

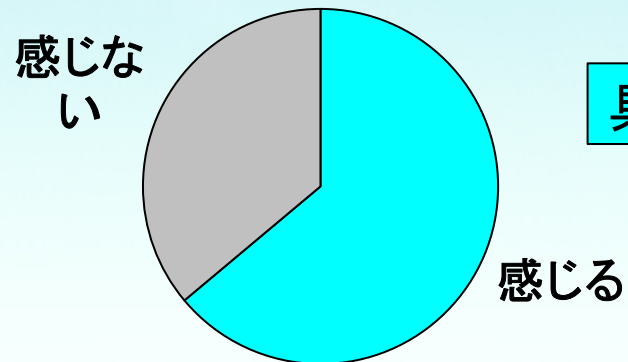
STEP1  
目的設定

STEP2  
アンケート  
①

STEP3  
レク実施

STEP4  
アンケート  
②

生活の中で何らかの  
困難を感じる方



内訳

- ① ペットボトルの開閉 25名
- ② ボタン掛け外し 18名
- ③ 本をめくる 14名

内訳：上位3項目

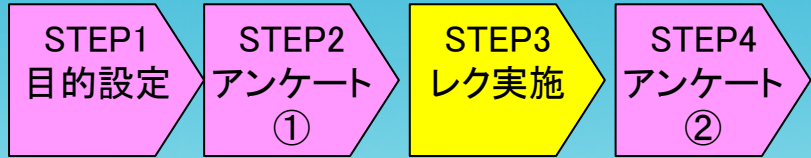
注：複数回答有





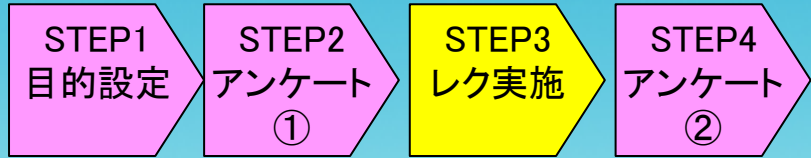


# Step3 : 活動の考案





# Step3 : レク実施

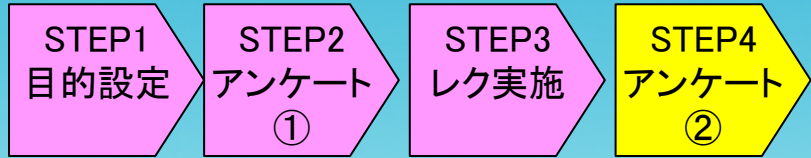


4週間実施(一人4回以上)





# Step4 : アンケート②

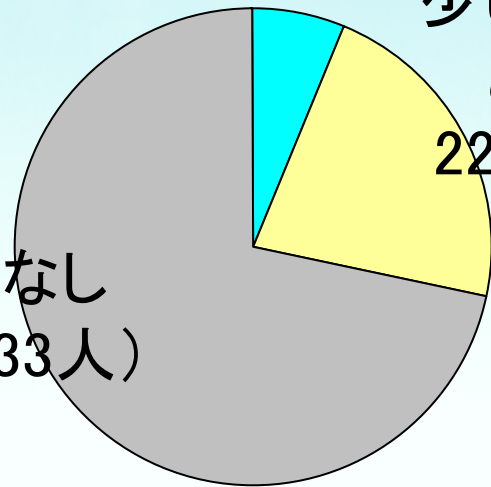


## ① 変化について

変化があった  
7%(3人)

少し変化が  
あった  
22%(10人)

変化なし  
71%(33人)

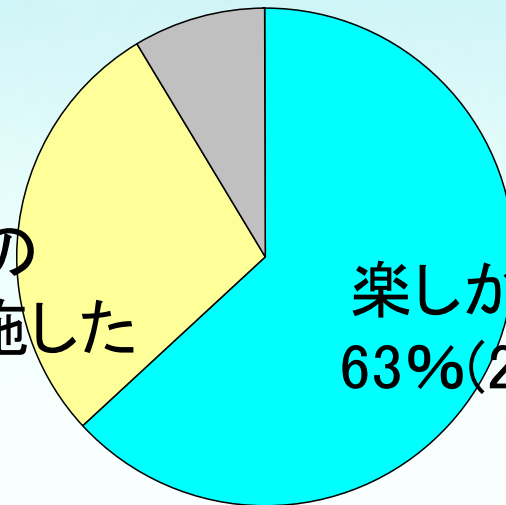


## ② 感想について

楽しくなかった  
9%(4人)

機能向上の  
ために実施した  
28%(13人)

楽しかった  
63%(29人)







## 結果と考察

- 期間が短かったため、機能向上にはつながらなかった → 機能向上には、長期的な取り組みが必要
- 活動への積極的な参加者が増えた → 意欲の向上に繋がった
- 機能向上の意識のみでの参加者もいた → 楽しむ事ができる要素の拡大が必要
- 参加に対して消極的な人への対応 → 説明方法の改善





## まとめ

- ★ 楽しみながら機能の維持向上を目指す
- ★ 明らかな機能向上は見られなかった
- ★ 困難と感じている動作に焦点を当てたことで参加・活動への意欲の向上に繋がりました。
- ★ リハビリ効果が期待でき・意欲的に楽しみながら参加できる活動を**利用者の声を大切**にして取り組んで行きます。

